議案第２号

医療法人社団　松田医院 2025 プランの改訂について

医療法人社団 松田医院が、令和８年７月、病床の配置を以下のように変更することに伴い、令和４年 12 月提出の同医院 2025 プランを別添のように改訂する。

●　病床配置の変更

【現　行】急性期 14 床（有床診療所１入院基本料）　計 14 床
【変更後】全床削減（０床）

病棟	病床数	病床区分	病床機能		病床区分	病床機能
3F	10	一般(有床診療所 10))	急性期(10)	⇒	なし	なし
2F	4	一般(有床診療所 4))	急性期(４)		なし	なし
計	14	－	－		なし	なし

●　改訂後の 2025 プラン等

別添のとおり（少子化に伴う分娩数の減少により、入院や分娩の症例数が激減して、相当以前より入院を中断して、事実上は休床状態に近い状況となっていた。今後の情勢を考慮した結果、病床削減よりほかに選択の余地は無いとの考えに至った。）

（参考）
広島中央圏域病床機能への影響

	必要病床数 ①	R8.8 協議済 病床数 ②	安田病院 変更影響 ③	松田医院 変更影響 ④	変更後 ⑤ (②-(③+④))	変更前 過不足 (②-①)	変更後 過不足 (⑤-①)
高度急性期	122	238			238	116	116
急性期	672	607		14	593	▲65	▲79
回復期	678	693	4		689	15	11
慢性期	669 以上	786			786	117	117
計	2,141 以上	2,324	4	14	2,306	183	165

（休棟等除く）

医療法人社団松田医院　2025プラン

令和4年12月作成
令和8年9月改訂

項目	
病院名	医療法人社団松田医院
R4.7.1現在の病床数（総数）	14
・高度急性期	0
・急性期	14
・回復期	0
・慢性期	0
・休床	0
R8.8.1現在の病床数	0
・高度急性期	0
・急性期	0
・回復期	0
・慢性期	0
・休床	0
職員数（令和8年8月1日現在）	医師常勤1名、非常勤助産師1名、非常勤看護師2名
現在（令和8年8月1日現在），自施設の担っている診療実績　（3年度実績）	現在は、すべて返納
現在（令和8年8月1日現在），自施設の担っている政策医療（5疾病5事業，在宅医療）	なし
現在（令和8年8月1日現在），自施設の担っている新興感染症等対応	なし
現在（令和8年8月1日現在）の他機関との連携	1次救急のみ。それ以上は、高次医療機関へ搬送。
現在（令和8年8月1日現在）の自施設の課題	少子化に伴う分娩数の減少による、経営困難。
R8年(2026)において地域で担う役割	外来診療のみ
R8年(2026)において圏域内の他の医療機関に果たしてほしい役割	高次医療機関としての、専門的医療
R8年（2026），自施設の担っている政策医療（5疾病5事業，在宅医療）	特になし。
R8年（2026），自施設の担っている新興感染症等対応	なし
R8年（2026）の他機関との連携	現在と変わらない。
R7（2025）からの働き方改革への対応について	対応できている
建物の建替え，改修予定	なし
高額医療機器の購入	なし
今後の自施設の課題，不安要素，他医療機関との連携希望，など	外来診療だけで、成り立つか不安

病床数適正化緊急支援事業ヒアリングシート（一般病床・療養病床）

医療機関名　医療法人社団松田医院
代表者氏名　松田博

1 各圏域の地域医療構想調整会議における議論状況

今回の申請における削減内容について、各圏域の地域医療構想構想調整会議における議論状況を記載してください。

議論状況　今回議論　　議論時期（議論済の場合）

2 今回の申請内容

今回の申請内容を、申請様式から転記してください。

（1）許可病床数　（単位：床）

	許可病床数						削減病床数					
	削減前［A］			削減後［B］			［A］-［B］			うち今回申請対象		
	一般	療養	計	一般	療養	計	一般	療養	計	一般	療養	計
1．高度急性期			0			0						
2．急性期	14		14	0	0	0	14		14	14		14
3．回復期			0			0						
4．慢性期			0			0						
5．休棟中等			0			0						
計	14	0	14	0	0	0	14		14	14		14

（2）削減申請病床数　（単位：床）

	削減申請病床数（今回申請対象）			うち稼働病床			うち休床病床			左記のうち既に削減済の病床数（※）		
	一般	療養	計	一般	療養	計	一般	療養	計	一般	療養	計
1．高度急性期												
2．急性期	14		14				14		14	14		14
3．回復期												
4．慢性期												
5．休棟中等												
計	14		14				14		14	14		14

（※）申請日時点で既に削減済の病床数がある場合に記載してください。

（3）病床稼働率（病院全体）　30.0%　　（4）病床削減時期　2026年８月
（複数時期に渡る場合は、全ての削減が完了する時期）

3 病床削減に至った理由・背景

最近の少子化の流れの中、入院や分娩の症例数が激減して、相当以前より入院を中断して、事実上は休床状態に近い状況となっていた。今後の情勢を考慮した結果、病床削減よりほかに選択の余地は無いとの考えに至った。

4 地域において担っている役割・機能

分娩を取り扱う有床診療所として、地域の産科医療を担って来て、これまで多くの方に出産頂いた。

5 病床を削減する場合に想定される地域医療に与える影響と対応

出産数の減少の大きな流れの中、現在の分娩取り扱いのある地域の２施設で、十分に需要をまかなえる状況と思われる。

6 その他（補足事項等あれば、記載してください。）

自主的に休床に近い状態にして、状況の改善を待ってまた再開する事を目指していましたが、経済状況、医療環境の一層の悪化により、全ての病床を返納する事態となりました。

以上